

国の「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項（第二次）」を勘案し、甲府市保健計画の「歯・口腔における健康づくりの推進」を総合的かつ実効性のあるものとして推進するため、ライフステージに応じた施策等の方向性等を記載した「**歯・口腔における健康づくりの推進に関する基本的事項**」を策定する。

策定の方針

第5次 健やかいきいき甲府プラン

令和6年度～令和11年度

第9次甲府市保健計画において、「**歯・口腔における健康づくりの推進**」を施策5に位置付け
 ・ライフステージに応じた歯科疾患予防のための正しい知識の普及・啓発、歯科健診の受診及び事後指導等を推進する。
 ・関係機関・団体等と連携し、生涯を通して切れ目のない、歯・口腔の健康づくりに取り組む。

基本的事項策定の方針

- 1 位置づけ**
国が定める「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項（第二次）」を勘案するとともに、甲府市保健計画の「歯・口腔における健康づくりの推進」を総合的かつ実効性のあるものとして推進していくため、施策の方向性をより具体化する。
- 2 基本的な方向**
 - 歯や口腔の健康を生涯にわたって保つため、ライフステージやサポートを必要とする人等、対象に応じた歯科疾患の予防や口腔機能の維持・向上に取り組み、**健康寿命の延伸や健康格差の縮小**を目指す。
 - 市民自らが歯科疾患の予防や口腔機能の維持・向上に積極的に取り組むことができるよう、**関係機関・団体等と連携し、環境を整備**する。

<イメージ>

健康寿命の延伸・健康格差の縮小

ライフステージに応じた施策

妊娠期・乳幼児期・少年期・青年期・壮年期・高齢期

サポートを必要とする人への施策

社会環境の整備に向けた施策

分野別の施策

1 ライフステージに応じた施策

(1) 妊娠期

現状・課題

- 妊娠中の歯周疾患は、早産や低体重児の出産のリスクを高めることから、妊娠届出時等に歯科口腔ケアについての知識の普及啓発や成人歯周疾患検診の受診勧奨を実施しているが受診率は高くない。

施策の方向性

- 妊婦の歯と口腔の健康の重要性についての普及啓発や子育て支援アプリ等を活用した**妊婦の成人歯周疾患健診等の歯科健診の受診勧奨**を実施。

(2) 乳幼児期(0歳～5歳)

現状・課題

- むし歯が増加する1歳6か月までに対策が必要。

施策の方向性

- 乳歯の生え始めの6か月から1歳6か月までの間に、**仕上げ磨きの大切さの普及啓発やブラッシング指導**を実施。

(3) 少年期(小・中学生)

現状・課題

- むし歯のない児童生徒は増加し、未処置歯を有する児童生徒の割合も減少傾向となっているが、永久歯にも悪影響を及ぼす乳歯のむし歯を放置し、未処置の状態が悪化させる児童生徒が一定数いる。

施策の方向性

- 歯磨き等のセルフケアによる**歯科疾患予防等に関する知識の普及啓発**や各学校で実施する**各種歯科健診を継続**し、むし歯のない児童生徒の増加と未処置歯を有する児童生徒の減少を目指す。

2 サポートを必要とする人への施策

- ライフステージごとの特性や歯と口腔の健康づくりについての**普及啓発**を実施。
- 状況に応じた歯科健診や歯科医療が受けられるよう、**関係機関と連携しながら現状やニーズの把握に努め、環境の整備**に取り組む。

3 社会環境の整備に向けた施策

(1) 関係機関と連携した取組

- 各分野において、定期歯科健診の受診勧奨等の受診促進を実施。
- **市歯科医師会等の関係団体と連携しながら、各歯科医療機関の体制強化や積極的な歯科口腔に関する情報発信**等を行う。
- イベントや歯と口の健康週間等での**歯科口腔の正しい知識の普及啓発**。

(2) 歯科口腔保健を担う人材の育成

- 歯科口腔保健に携わる職員に各歯科専門機関が実施する研修参加等、**必要な教育を実施し、最新の知識等を持つ職員を育成**。

(3) 多職種が連携した歯科口腔ケアの推進

- 歯科専門職をはじめ、**歯科口腔保健を担う多職種の連携を強化**し、必要な状況で必要な歯科口腔ケアを受けられる体制の整備。

(4) 災害時の体制整備

- 市と市歯科医師会は、市地域防災計画に基づき、「災害時の歯科医療救護活動に関する協定」を締結し、災害時の歯科専門職の派遣等について規定。
- **防災マニュアルに避難グッズとして歯ブラシの掲載や災害時の困難な状況下における口腔ケアの重要性についての普及啓発**。

(4) 青年期(16歳～39歳)、壮年期(40歳～64歳)

現状・課題

- 甲府市の成人歯周疾患健診は主に19歳～74歳対象に実施しているが、認知度や受診者数が少ないことが課題だったことから、令和5年度より個別勧奨通知等の受診勧奨を強化。
- 令和5年度成人歯周疾患健診の結果によると「歯周炎を有する者」の割合が特に高くなっている。

施策の方向性

- 個別勧奨通知や健康アプリを活用し、**成人歯周疾患健診等の歯科健診の受診勧奨**や、かかりつけ歯科医への**定期受診の必要性**について普及啓発し、受診率向上を目指す。
- 歯周病と生活習慣病等の全身疾患との関連性や歯磨き等のセルフケアによる歯科疾患の予防、口腔機能の維持・向上に関する**知識の普及啓発**を実施。

(5) 高齢期(65歳以上)

現状・課題

- 歯や口腔の健康がフレイル予防や介護予防につながるものの認知度が低く、普及啓発が必要。
- 高齢者の口腔機能低下の予防や肺炎等の疾病予防にもつながる成人歯周疾患健診や後期高齢者歯科口腔健診の受診率の向上が必要。

施策の方向性

- **歯や口腔の健康がフレイル予防や介護予防につながるものの認知度を高める等**、歯周病と全身疾患との関連性やセルフケアによる歯科疾患の予防、口腔機能の維持・向上等に関する**知識・実践方法の普及啓発を食育の取組と連携して実施**する。
- 成人歯周疾患健診や後期高齢者歯科口腔健診等の**歯科健診の受診勧奨**や、**かかりつけ歯科医への定期受診の必要性**について普及啓発し、受診率向上を目指す。

成果指標一覧

○保健計画、◎高齢者いきいき甲府プラン目標値

指標名	現状値	目標値 (令和11年度)
妊：成人歯周疾患健診を受診する妊婦の割合	40.9% (令和5年度)	45.9%
乳幼：1歳6か月において仕上げ磨きをしている保護者の割合	59.7% (令和5年度)	64.7%
乳幼：●3歳児でむし歯のある子どもの割合	12.2% (令和4年度)	11.6%
少年：12歳児でむし歯のない子どもの割合	77.6% (令和5年度)	78.1%
青・壮：●1年1回以上の歯科健診を受診した人の割合	55.9% (令和5年度)	61.5%以上
青・壮：●歯・口腔の健康を保つことへの関心を持っている人の割合	88.7% (令和5年度)	90.0%以上
壮：40歳以上における自分の歯が19本以下の者の割合	19.0% (令和5年度)	12.0%以下
高：◎訪問歯科診療を含めた在宅療養の認知度	49.3% (令和5年度)	60.0% (令和8年度)